

衆議院議員

かつまた孝明の

39歳

かっちゃん

子育て、責任世代の代表として！

医療 福祉 教育

ふるさと実績！

「地方創生」
実現に向けて

勝保孝明は、2014年12月の第47回衆議院議員総選挙におきましてふるさと沼津・駿東・伊豆の皆さんの温かく力強いご支援をいただき2期目の当選をさせていただきました。

1期目より2期目！
1期目にふるさとの皆さんと共に、汗をながし種をまいた一つ一つの政策が、2期目の議席をいただき、芽を出し、花が咲こうとしています。この紙上をおかりして、ふるさとおける政策の進捗状況をご報告させていただきます！

現在、国が取り組む「地方創生」のゴールとはどのようなふるさとなのかを県内選出の衆議院議員で唯一の「地方創生」に関する特別委員会委員として考えてみました。

勝 通信

—特別号—

自由民主党静岡県
第6選挙区支部

お問い合わせ

自民党静岡県第6選挙区支部
かつまた孝明後援会

〒410-0062
沼津市宮前町13-3
電話 055-922-5526
FAX 055-922-5527
URL <http://www.t-katsumata.com>
ブログ <http://ameblo.jp/t-katsumata/>
E-mail jimin@t-katsumata.com

人口減少、少子高齢化社会の中で、我がふるさと若者の人口流出が止まらない状況にあります。若い人たちが高校や大学を卒業しても、ふるさとに帰ってくるのができない。それには、雇用がなくてはならないのです。

私は、企業誘致はもちろんのこと、起業創造に力を注ぎ、沼津や三島に企業集積を行い、伊豆半島の各市町村から無理なく通勤ができるインフラ整備を同時に行います。そして雇用を創出し、若者がふるさとで安心して働く環境を創ります。

私は「地方創生」ゴールとは、若者がふるさとに帰ってきて、やりがいのある仕事に就き、家族を持ち、安心して子供を育てることができ、ことだと考えています。

「地方創生」のゴールに向かって、これからもふるさとの皆さんと共に、全力で走り続けることをお誓い申し上げます！

少子高齢化社会の中、年間で我が国の国家予算は100兆円に迫る勢いで増大しています。そしてその約4割が社会保障関係費（年金・医療・介護など）であり、特に医療費においては、毎年約1兆円増大している状況です。

こうした中で、財政の健全化を図っていくためにも、私たち一人一人が心身ともに健康で人生を歩んでいくことが自身のためにそして健康長寿社会を目指す我が国にも大変重要になってきます。

毎日の食生活、安心で安全な食べ物、バランス良く「をモットーとした食育、そして適度な運動スポーツを通して快適な人間関係の構築、さらには職場環境の改善、日常生活における心の安らぎ、などなど様々な観点から健康を考え、予防医療の推進をするなど、課題を解決していかねばなりません。

私は、静岡県東部傾聴ボランティアネットワークの皆さん、現場の皆さんの現状・そして声をしっかりと受け止め、内閣委員会等で質問をさせていただきます。

前内閣府特命担当大臣の森まさこ参院議員に対し、若年層の自殺対策、健康長寿社会の推進策等を質問させていただきます！

▲前内閣府特命担当大臣の森まさこ参院議員に質問

▲静岡県東部傾聴ボランティアネットワークの方々と

まずは健康！医療・福祉・介護に全力

心身ともに健康な
まちづくりの実現！

我が国の食の安全安心のため
農業・水産業を守る！

おいしい
お宝いっぱい
伊豆半島

実家が米農家であり、後継者問題を含め、農業の大変さを実感しています。しかし、伊豆半島は、お茶・イチゴ・わさび・しいたけ・ニューサマーオレンジなどの柑橘・四ッ溝柿・長泉白ネギ・土肥の白びわ等々、また農作物だけでなく、海のお宝に目を向ければ、金目鯛・アジ・サバ・アワビ・トコジなど魚介類等々、おいしいお宝は枚挙にいとまがありません。その中で、稲取キンメが商標登録され、ブランド化されました。また、いとう漁協は、Fish-1グランプリにて、14年にサバ男くんのトマトソースで準グランプリ、15年には金目鯛を丸ごと使った、金のだし茶漬でグランプリ（優勝）を連続で受賞しました。

一方、荒天や災害・また燃料の高騰などによって、大きく生活が左右されてしまうのも事実であります。実際に、風評被害による補償請求、雪害による対応等、大変な場面で皆さんと共に手を取り合いながら歩んでまいりました。

今後とも、国民の食の安全安心のために農業・水産業をしっかり守ってまいります！

▲いとう漁協直営漁師めしや・波魚波（はどば）にてお食事

▲いとう漁協・Fish-1 グランプリ受賞

▲寿太郎みかんの雪害被害現場を視察、対応

中小企業の成長による
安定した雇用の拡大を実現！

伊豆半島ジオパーク世界認定
蘆山反射炉世界文化遺産認定が年内に実現!!

今こそ伊豆は一つに

今こそ、伊豆が一つとなって富士山を、そして新たに伊豆半島ジオパーク、蘆山反射炉を世界に向けて発信していくことが重要であり、2020年東京オリンピックパラリンピック自転車競技の伊豆開催に向けて、世界各国・全国各地からお客様が訪れていただけるよう、しっかりと伊豆のおもてなしの心をPRしていくことが責務であります！

▲ジオパークバッジを石破大臣に

学歴
しょうえい幼稚園 卒園
沼津市立門池小学校 卒業
沼津市立門池中学校 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
経営学修士：MBA取得

職歴
平成12年4月 スルガ銀行株式会社 入社
平成24年12月～ 衆議院議員 1期目
平成26年12月～ 衆議院議員 2期目
経済産業委員
財務金融委員
地方創生に関する特別委員
自民党ITS道路調査会・幹事
統合医療推進議連・政策委員

東駿河湾環状道路西区間の

新規事業化決定！

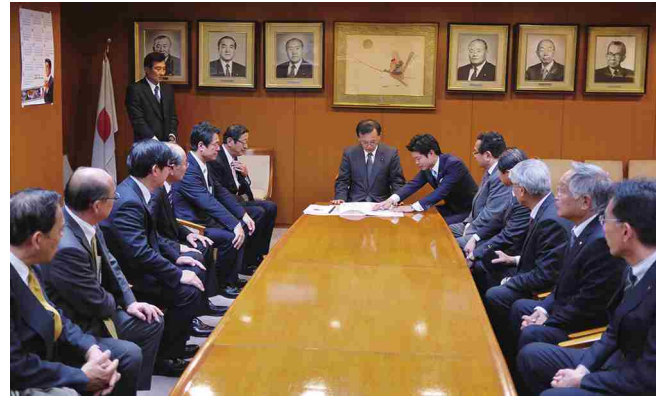
東駿河湾環状道路の以西区間、沼津岡宮から原までの7.9kmの道路であり、本年3月に沼津岡宮から愛鷹までの2.6km区間が総事業費230億円で新規事業採択されました。

昭和62年に都市計画決定以降、新規事業採択されてこなかった案件であり、東日本大震災以降、特に私が初当選させていただいて以降、脆弱な地盤に対する防災対策、県内一渋滞する国道一号線バイパスの補完道路、富士から伊豆半島への観光・物流政策の観点から、地元住民、商工関係者の皆さんとともに要望活動や地元説明会を何十回も重ねてまいりました。

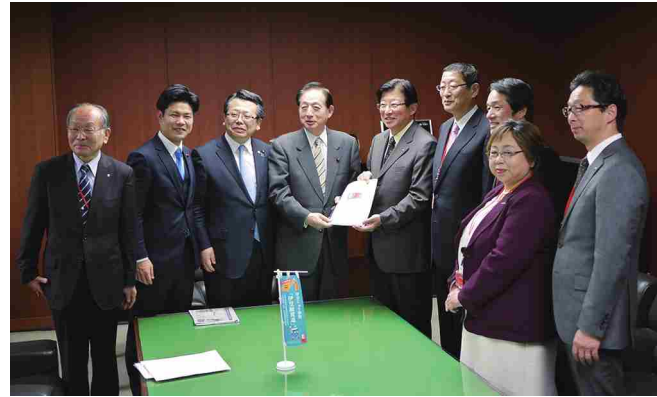
特に、朝夕のラッシュ時には、国道一号線バイパスの渋滞回避のために、根方街道や住宅街の路地に車が溢れ、子供たちの通学時間帯に重なることもあり、大変危険な状況にあります。子供たちやお年寄りの交通事故を無くすためにも大変効果のある道路です。

沼津市のみならず静岡県東部の交通面での大きな大きな一歩となります。地元の皆さんの想いが、事業化というカタチとして伝わって本当に良かったです。

今後とも、早期完成に向けて引き続き、地元の皆さんとともに要望活動を続けていきたいと考えております！



▲自民党本部・谷垣幹事長に要望内容説明



▲太田国交大臣に知事らと最終的な要望



▲東駿河湾環状道路西区間・新規事業計画図

東駿河湾環状道路が2014年2月11日に河津さくら祭りに間に合わせて三島塚原から函南塚本まで供用開始することができ、今現在、沼津岡宮から伊豆市大平までがつかない、2018年までに伊豆市大平から天城湯ヶ島までの天城北道路を完成させます。また、南部の河津下田間の12.5kmは工事が着工され、着実に予算がつけられています。

しかし!!この天城湯ヶ島と河津の間の最も険しいと言われる「天城越え」の道路が、約30年、概略ルートさえ検討されてきませんでした。



▲国交省政務官に要望

通学路交通安全プログラムの見直しの徹底！ 子供たちの安全のために

子供たちの登下校の安全を確保するために、抜本的なインフラ整備はもろろのこと、激変する交通事情に対応していくために、国土交通省・文部科学省・警察庁に「通学路交通安全プログラム」の定期的な見直しを要求しました。

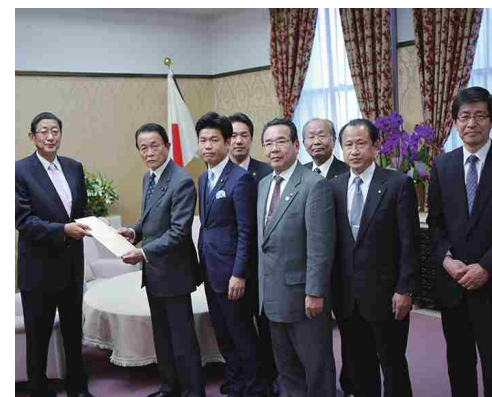
これにより、地元の学校・行政・PTA・自治会が一体となって通学路の安全を定期的に見直すことになりました。

また、信号機の設置の要望等、子供たちやお年寄りの皆さんの安心生活の実現に向け、着実に前進しています。

(2015年1月に沼津のスーパー・マルトモ山の手店前、宮前町信号機の設置が実現しました)



▲新たに設置された信号機の前で



▲麻生財務大臣に要望

伊豆縦貫道の天城越えの計画段階評価決定！

悲願の天城越え に一歩前進

地元の皆さんの熱い要望に動かされ、何度も国土交通省や財務省に足を運び、陳情活動を続けました。

その結果2015年3月、天城越えが「計画段階評価」に入ることとなり、悲願の天城越えに一歩前進することができました。

2015年3月に、JR東日本伊東線来宮駅・伊豆多賀駅・網代駅・宇佐美駅が「無人化」になり、駅員がいなくなりました。

これからの観光地熱海・伊東を考えたとき、さらには高齢化社会を考えたとき、駅員がいなくなることとは、お年寄りや障がい者、またベビーカーを使う子育て世代の皆さんの気持ちを考えない、全く逆行している施策であり、断固として抗議をしてきました。

無人化にするならば、長年要望してきたが全く進んでいない「駅のバリアフリー化」をせめて実現してもらいたいと、地元住民説明会を開催し、JR東日本、国交省鉄道局と交渉に



▲JR東日本本社に要望

JR東日本伊東線宇佐美駅の

バリアフリー化 決定！

交渉を重ね、市長・市議会議長名で要望活動を繰り返し行いました。

しかし、バリアフリー化の基準である一日乗降客数3000人という基準を大幅に下回る4駅に国・JRが予算を出すということが厳しい状況でした。

その後、地元の熱意が実り、宇佐美駅のバリアフリー化が決まり総事業費約1億7千万円のうち国交省5千7百万円の補助が決定、来年には宇佐美駅に念願のエレベーターが設置されバリアフリー化されることになりました！

熱海市の他の駅についても、引き続きバリアフリー化に向け交渉を重ねて参ります。



▲国交省政務官に要望

新たな沼津港振興ビジョン策定委員会の開催！ 年間200万人の 沼津港を目指して

沼津・戸田の合併から10年が経ち、合併特例の交付金によって総事業費15億円で設置された「道の駅」です。実は、この交付金2014年の最終年度分、約9千万円が沼津市に入ってきませんでした。慌てて、当時の総務副大臣の上川陽子代議士のところへ、栗原市長と出向き、総務省に確認し、手違いであったため交付金を満額支給していただきました。

おかげさまで無事に2015年4月1日のオープンに



▲へるら戸田開館式典

今や年間150万人の観光客を集める沼津港！しかし、今がいからと言って満足してはいけません。この港の勢いを2キロ先の中心市街地にどう結び付けるのかを具体的に考えていくこと、そして日本一深い駿河湾を沼津港に来れば体験でき、学ぶことができ、更に味わうことができるというオンラインワンの要素を活かし発信していくことが必要です。

しかし、沼津港振興ビジョンは10年以上も、具体的なビジョンを描けないでいました。国交省港湾局、静岡県港湾局、沼津市と関係者と交渉し、外部の有識者の皆さんに委員になっていただき意見をいただくよう提案しました。

特に沼津港の内港は、全国で13しかない特定地域振興重要港湾に指定され、振興すべき分野を「観光」と位置付けられています。

私は、沼津港の観光客200万人を達成すべく内港を築くため、策定委員会と有識者会議を立ち上げ、国・県の港湾局と連携し、新たな沼津港振興ビジョンを具体的に実現していきます!!



▲沼津港湾プロジェクト



▲沼津港・内港で